

都 々 逸

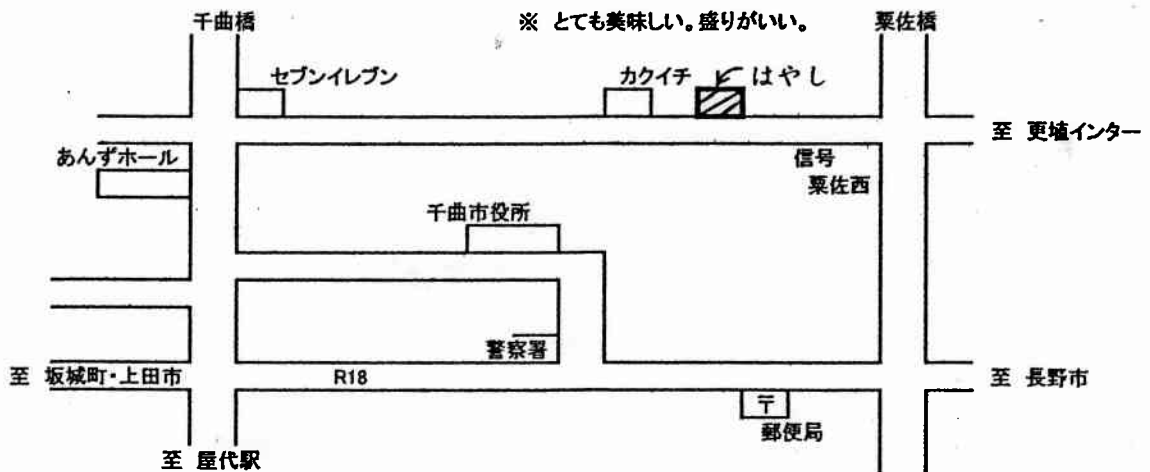
せかれて想いが届かぬならば 戻って待とうか 後の月  
 嫌いなお方の親切よりも 好きなお人の無理がいい  
 お酒呑む人しんから可愛い 呑んでくだまきゃ なお可愛い  
 風のままになびいていれど 幹は動かぬ 糸柳



江戸こぼなし 【町人との喧嘩】

町内の若い男が、道で侍に突き当たった。「無礼者！お前の眼はどこについているのだ！」  
 「なんだ！それはこっちの言うせりふだ」「おのれ、侍に向かってその口のききようはなんだ！」  
 「侍がなんだ！侍なんかくそとも思わんわ」「何を、くそとも思わんだと！そこに直れ手討ちに致す」  
 侍が刀のつかに手をかけようとした所、運よく来合わせた大家が、  
 「まあまあお待ち下さいませ。この者が何かお気に障るような事を致しましたでしょうか？」  
 「武士に対して無礼千万。拙者に向かってくそとも思わんなどとめかしおったわ」  
 「お腹立ちはごもつとも。わたくしからも重々お詫び申し上げます。どうぞご勘弁下さいませ」  
 「甚吉、お前もお前だ。お侍様に向かって“くそとも思わん”などととはとんでもない。  
 いいかこれからは、くそと思うようにするのだぞ！」

おいしい“お蕎麦”のお店 【長野県 千曲市 編】



数学の時間

円形のトラックで自転車競争をしています。翼君は時速25キロで、ケンジ君は時速20キロです。  
 翼君は9分ごとにケンジ君を追い抜きました。もし、二人が反対方向を走ったとしたら、  
 何分ごとに会うでしょうか？

数学の時間・・・答え 44号の答え・・・8年後

## 江戸ことば

【四の五の】

四の五のの違い程度のわずかな違いで、不平不満を言うこと。今の人が「ぐずぐず言ってんじゃないよ」「さっさとしろよ」と言うような時に、「四の五の言うな」と使った。これも江戸っ子らしいことばである。

## 歴史への招待

【小田原合戦】 豊臣秀吉：北条氏政、氏直

天正17年、北条氏邦の家臣で沼田上代の猪俣邦憲が突如真田昌幸の支域名胡桃城を奪うことがあった。秀吉は、この軍事行動をもって臣従の礼をとる意志がないと判断し、戦線布告状をつきつけた。秀吉は自ら32,000軍勢を京都より率いて、上杉景勝、前田利家らを合わせて、総勢22万の大軍である。それに対する北条軍は友軍合わせて5万6千。

小田原城内では、出撃して迎撃すべきという意見と、籠城して戦うべきとの意見に分かれ侃々諤々の討議の末籠城することに決まった。このことを、後世「小田原評定」と言われた。この日を想定して、大外郭が完成していた城は、秀吉も容易に落とすことはできない。そこで秀吉は得意の長期戦、兵糧攻めをすることにした。一方で、各地の支城を次々に落とし、ついに北条軍の降伏となった。秀吉は氏政、氏照二人に切腹を命じている。

ここに、初代北条早雲以来100年にわたった戦国大名北条氏は滅亡したのである。

## 落語のあらすじ

【笠 碁】

碁の敵同士が、待った待たないという些細なことから喧嘩になり、仲たがいしてしまう。時がたつにつれ、双方とも相手が恋しくなり、一方が雨の中を菅笠をかぶって出掛け相手の家の前を言ったり来たりする。

## サラリーマン川柳

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1 ずる休み したのに 誰も 困らない  | 6 迷わずに 来た道 どこか それている |
| 2 成功の 一步手前で やめる癖     | 7 我が人生 ピークは生まれた 時だった |
| 3 注射する 子よりゆがんだ 母の顔   | 8 赤ちようちん 会議の時より 意見出る |
| 4 ドットコム どこが混むのと 聞く上司 | 9 土地もある 家もあるのに 居場所なし |
| 5 追えば逃げ 逃げれば 誰も追ってこず | 10 前向きに 検討しながら 後ずさり  |

## 江戸のことわざ

【惣領の碁六】

「惣領」とは最初に生まれた子で、長女も含まれていたが、ふつう長男を言う。本来は、鎌倉時代以来一族の総領地を相続する資格を持った嫡男をさした。一族の長となる子であるため育てられ、弟や妹に比べ、おっとりしているという意味。

## お知らせ

お読み戴いています『かわらばん ナカニワ』そして他にも少々……  
当社ホームページに載っております。是非ご覧下さい。

<http://www.nakaniwa-cons.co.jp>